



### 謹賀新年

皆様にはいかがが新年をお迎えでしょうか。

早いもので、日経平均3万8915円という過去最高値から始まり、バブル崩壊以降、長期にわたる経済停滞で、景気や株価、個人消費などすべての面で低迷した「失われた20年」がすっぽり収まる「平成」もいよいよ最後の年になりました。

自然災害も多発し、インターネットやSNSなどテクノロジーは進化しましたが、少子高齢化や核家族化が進み、人口も2004年を境に減少へ転じるなど、家庭的な(戦後の)「昭和」とは真逆の暮らし方へと変化したのも「平成」でした。

さて、去年は、NHK大河ドラマ「西郷どん」に、(鹿児島県はいうに及ばず)わが山形県も歴史的なつながりも濃く西郷どんフィーバーの一年でした。そして、最終回の放映後は、私もいささか西郷どんロスから抜け出せない状態でおりましたが、今年のNHK大河ドラマ『いだてん』が6日から始まりました。

日本人初のオリンピック選手となった「日本のマラソンの父」金栗四三(中村勘九郎)と、1964年東京オリンピック招致に尽力した田畑政治(阿部サダヲ)の2人を中心に話が進むようです。“オリンピックに初参加した男”と“オリンピックを呼んだ男”が織りなす新大河ドラマは、(東京五輪の年に私も大学生となり、同期の中から最終聖火ランナーが抜擢された)ホノルル・ニューヨーク・(宮城)菅生・(山形)長井の各フルマラソンを完走した私にとって、待ち遠しい日曜の夕べの至福の時間となりそうです。

公認会計士 黒沼 憲



平成最後の新年を迎えたこの正月は、昨年6月の皇居勤労奉仕の4日間のこと、12月の今上天皇陛下お誕生日のメッセージのこと、そして年末に鑑賞した「NHK歴史秘話ヒストリア」“天皇の先生となった男、小泉信三”物語などで、更に皇室を身近に感じた年始となりました。元号の変わる平成31年度はこれまで以上に、私達一人一人が日本の素晴らしいところ「和の国、日本」を自覚しながら、「自分の良心に忠実で他人のことを思いやる精神『忠恕(ちゅうじょ)』」をもって実践活動をしていかなければならないと思っています。

税理士 黒沼 範子

今年は改元に加えて、働き方改革関連法(4月)、改正入管法(4月)、改正民法相続(7月)、消費税率10%と影響緩和策の実施など様々な施策が立て続けに施行され、世の中がどんどん変化していることを実感しています。また事業承継税制の実施も本格化しそうです。クライアントの皆様にも更にお役にたてるよう頑張ります!

公認会計士 植村 義弘



今後の経済の持続的発展のため、中小企業の事業承継が引き続き重要な項目と考えられます。事業承継、生産性に関連する税制等の動向を注視し、クライアントに資する助言・対応を行い、共に成長できるように努めてまいります。

公認会計士 大倉 然